



府中市立府中第六中学校

令和5年12月13日 第8号

# 六中だより

～学校教育目標～  
“学力と情操”  
“健康と忍耐力”  
“勤労と責任”

## 進路指導とは、自分の生き方を考えさせること

校長 佐藤 光宏

二学期総まとめの12月に入り、朝晩の冷え込みも急に厳しくなっています。体調管理には十分に注意して頑張ってください。

この時期以降、卒業生が学校を訪ねてきてくれることがあります。卒業生に会うと、「校長先生、大学生になりました」と報告してくれることがあります。そのとき、私は「どこの大学ですか」ではなく、「何を専攻しているの」と聞きます。「〇〇学部で〇〇の勉強をしています。将来、〇〇の仕事をしたいんです」とちょっと真剣な表情で答えてくれます。「どこの大学ですか」を聞くと「受験偏差値の比較」のなかで答える卒業生がいます。「たいした大学じゃないんです」とか「ここにしか入れませんでした」とか。でも、「何を学ぶのか、何を学ぶために大学に進学したのか」を話すとき、卒業生たちはみんな自分自身を生き生きと語ってくれます。12月になり、3年生のみなさんは、自分の進路に向かっていきます。3年生全員に対する「面接練習」も始まりました。面接の中で、私が必ず質問していることは、「あなたが中学校を卒業したら、どのような進路を考えていますか」ということです。もし、「〇〇高校へ進学したい」のであれば、「それはなぜなのか」、そして「その高校で何をやりたいのか」「その高校を卒業したら、どのような進路を考えているのか」を聞いています。

じっくりと話していると、「私は人の役に立ちたいから」「自分や家族が困っているときにお世話になり助けられた職業だから」「みんなを笑顔にしたいから」「将来は〇〇になりたいんです」と、自分はこれからどのような生き方をしていきたいかを話してくれます。つまり、「受験」とは、自分はこれからどのような生き方をしていきたいかを自分に問い続けていく、その第一歩なのです。では、どんな生き方をしていくべきでしょうか。私は、あなたが幸せになる生き方、そして、人を幸せにする生き方をしてほしいと思います。だから、受験は自分のためであり、人のためでもあります。中学校を一緒に過ごした仲間と励まし合い、時には教え合うことが、自分の生き方としてできる3年生に成長することを期待しています。



## 【第二回 小中連携の日】



11月29日(水)の午後から第2回小中連携の日が実施され、今回の会場の府中第四小学校(四小)に六中の先生たちが足を運んで、授業参観と分野別の分科会に参加しました。前回(6月7日)は四小・小柳小・南白小の先生たちに成長した姿を見てもらいました。今回は、各教科の授業の内容だけでなく、ふるさと学習や地域ボランティアのことも話し合いました。また、先日の児童会と生徒会の交流、生徒会主催の落ち葉掃き企画など、子どもたちの自発的な取り組みを紹介し、小学校と中学校の協力の内容とあり方について深めていきました。



小中連携コーディネーター 黒澤信介

## 【新入生保護者説明会】

11月10日(金)に、令和6年度に入学予定の新入生の保護者を対象に、新入生保護者説明会を開催しました。在校生が学習や行事に一生懸命取り組んでいる様子や、学校のきまりなどを説明しました。たくさんのご来校ありがとうございました。

～お願い～

当日ご欠席された新入生の保護者の方々には、当日配布した資料を本校事務室にて配布しております。もしお近くに、来年度入学を予定される児童の保護者の方がいらっしゃいましたら、お伝え頂きますようお願いいたします。

### 部活動等の実績



バレーボール部

第64回 府中市民体育大会 秋季大会 優勝



サッカー部

第9ブロック令和5年度サッカー新人大会 優勝



剣道部

第9ブロック秋季新人剣道大会 第3位

第64回 府中市民体育大会 秋季大会 女子団体 第3位

第9ブロック秋季新人剣道大会 優勝 1年女子